



南舞岡小だより

学校所在地 〒244-0814 横浜市戸塚区南舞岡4-15-1 (TEL823-4120,4130)

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/minamimaioka/>

「全集中！スポーツフェスティバル！」

教務主任 足立 憲昭

冬が駆け足で近づいているようですが、保護者の皆様にはいよいよご清栄のこととお喜び申し上げます。例年であれば、5月に開催されるスポーツフェスティバルも感染症のために今年度は11月の開催となりました。コロナ禍の状況を踏まえ、今年度の運動会は、これまでの活動をただ縮小するという発想ではなく、新たな活動をつくりあげていくという方針のもと、南舞岡小学校らしい大規模校ではできない、小規模校ならではの「強み」を打ち出していくことをねらいとして計画・運営を行いました。この小規模校のスケールメリットを生かし、コンパクトにまとめられた時間のなかでも子どもたちが一体感や充実感を感じることができるように職員一同知恵を出し合いました。

例えば、短縄演技では校庭全面を使い、全校児童でソーシャルディスタンスを保ちながら演技発表する。徒競走では、児童一人ひとりと呼名することで子どもがより輝く瞬間を演出していく。応援合戦では、大きな声を出すことなくうちわやプラカードを使った応援を行う。クラス対抗長縄では、全校児童で集まることなくクラス単位で練習しながら伸びを実感できる練習の工夫をする。など、感染症対策での制限をチャンスとし、活動に工夫を加えることでスポーツフェスティバルの新たな価値を見出すことができました。

子どもたちは、相次ぐ行事の縮小中止が続く中でもスポーツフェスティバルへ向けて意識を高く持ち、自分自身を高めていきました。高学年の子どもたちを中心に、休み時間は「紅蓮華」の曲に合わせて短縄跳びの技を磨き、マリーナ跳びという高難易度の技にも挑戦しました。低学年も歌の歌詞を口ずさみながら元気に短縄跳びに取り組みました。さすが南舞岡小学校の子どもたちです。休校期間やステイホームが続き、運動不足気味の子どもたちが、約3分から4分間縄跳びを跳び続けることは容易ではないはずですが、それでもスポーツフェスティバルという目標に向かって「全集中」しながら一生懸命に取り組む姿に感動を覚えました。今年度は、引き続き、短縄・長縄に取り組んでいくことで、さらに体力アップを狙っていききたいと思います。

地域の皆様にはスポーツフェスティバルをご覧いただくことができず、申し訳ありませんでしたが、各家庭大人2名までの参観にご理解をいただき、ありがとうございました。また、近隣の皆様にはマイクの声や演技の曲等、ご迷惑をおかけしたことと思いますが、温かく見守ってくださり、ありがとうございました。

保護者の皆様にとっては、子どもたちが活躍する姿をご覧いただく場面が減りましたが、趣旨をご理解いただき、様々な面でご協力いただいたことに感謝申し上げます。最後に、本校児童による舞句をひとつご紹介いたします。

「ながなわで きょうりよくしあい しんきろく」

子どもたちは、みんなで力を合わせて一つのことに取り組む良さを今年度ほど実感した年はなかったのではないのでしょうか。多くの皆様のご理解とご協力があって、このスポーツフェスティバルを開催することができました。ありがとうございました。